

# ドニゼッティ作曲 歌劇「連隊の娘」

140809

幕	場	場面	内容	分	見どころ・聴きどころ					
第1幕 80分	序曲			7						
	1	連隊で育てられたマリー	村人達は、敵方のフランス軍の撤退を祈りながら、戦況を見つめている。戦争を避けようとする移動中のベルケンフィールド侯爵夫人は、足止めされている。フランス軍撤退の報が入り、侯爵夫人は付き人と共に山小屋で休むことになった。	13	ホルテン シウス	侯爵夫人				村人
	2		マリーとシュルピス軍曹が、マリーの生い立ちについて話をしている。「小さい時に戦場でシュルピスに拾われた孤児で、軍隊で育てられ、現在は、連隊の酒場で働いているが、兵士たちからも娘のように可愛がられている。」ただし、マリーは、シュルピスから、連隊兵士と結婚するよう釘を刺されている。	23			シュルピス	マリー		マリーとシュルピスの二重唱
	3	愛を打ち明けられるマリー	トニオが、連隊の周囲をうろついていたので、スパイ容疑で連行されてくる。マリーが兵士たちに、自分の命の恩人であると伝えるので、釈放される。トニオは、マリーと出会って以来彼女を愛しており、彼女を探しに来ていたのである。チロル人のトニオは、マリーの敵方なので、連隊の兵士達から追い出される。	20				マリー	トニオ	連隊 マリーの歌
	4		点呼のため兵士達が舞台から去った後、トニオが連隊から抜け出してきて、マリーに愛を告白する。マリーもそれに応える。	10				マリー	トニオ	マリーとトニオの二重唱
	5	離ればなれとなる二人	侯爵夫人とシュルピスとの会話から、マリーが侯爵夫人の姪であることが判明する。侯爵夫人は、マリーを侯爵家の女として再教育すると言い、城に連れていくという。	8	ホルテン シウス	侯爵夫人	シュルピス	マリー		
	6		トニオは兵士たちに、マリーと結婚するために入隊したと告白し、マリーを可愛がっている兵士達から、許可を得る。	30				マリー	トニオ	連隊 トニオの歌
7		トニオと兵士たちは、シュルピスから、「マリーが侯爵夫人に引き取られ侯爵夫人の城に住むことになる。」と告げられ、入隊したばかりのトニオと離ればなれとなる。	10	ホルテン シウス	侯爵夫人	シュルピス	マリー	トニオ	連隊	
第2幕 60分	1	連隊を懐かしむマリー	侯爵夫人は、マリーをバイエルン公クラークントルプ公爵の甥と結婚させようとする。しかし、マリーがその気でないので、負傷により除隊して現在公爵夫人の執事のシュルピスに、マリー結婚の協力を求める。	22		侯爵夫人	シュルピス			
	2		マリーは、侯爵夫人のピアノ伴奏でロマンスを歌うが、連隊の歌が忘れられず、公爵夫人からしかられながらも、マリーは、連隊の生活を懐かしむ。	15		侯爵夫人	シュルピス	マリー		マリーの歌
	3		大尉に昇進したトニオが、連隊を引き連れて侯爵夫人の城に到着し、マリー、シュルピスとの再会を喜ぶ。トニオは、侯爵夫人にマリーとの結婚を訴えるが、マリーには貴族の婚約者がいると、断られる。侯爵夫人はシュルピスに、「実はマリーは自分の娘で、マリーのために最高の結婚相手を選んだ。」と告白され、再度協力を求められ、シュルピスは了解する。	18	ホルテン シウス	侯爵夫人	シュルピス	マリー	トニオ	連隊 トニオの歌
	4	結ばれる二人	クラークントルプ公爵夫人ら招待客が侯爵夫人の城に到着している。しかし、マリーは結婚に気乗りせず、まだ自室にこもっているが、侯爵夫人が、実の母と知り、マリーは母親の希望に添おうと、結婚を承諾する。そして、結婚証明書に署名しようとしたときに、トニオ達が乗り込み、妨害する。マリーは、招待客達に、自分の生い立ちと兵士達への返し尽くせない恩がある、と説明するので、招待客達は話を聞き感動する。ベルケンフィールド侯爵夫人も感激して、マリーとトニオの結婚を許す。	38		侯爵夫人	シュルピス	マリー	トニオ	連隊

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。